



ポセイドン
DC10000L/DC15000L

取扱説明書

ホームページで、最新のマニュアルを表示できます。
下記 URL もしくは QR コードでページにアクセスしてください。

https://aqua.mmccorp.jp/catalog_manual.html



この度は ZOOX ポセイドンをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は淡水と海水の両環境で、循環ポンプとしてご使用頂けます。




ご使用に際し、この取扱説明書をよくお読みいただき、使用方法と構造をよくご理解した上でご使用ください。お読みになった後は、いつでもすぐに読むことができる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次のように区分しています。

注意事項の区分

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」を表します。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。

マークの意味

 禁止	 強制	 電源プラグを抜く
--	---	---

電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い

警告

電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

交流 100V 以外での使用や、コンセントを他の器具と同時に使うと火災・感電の原因になります。延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートにつながる危険があります。

電源コードや電源プラグを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

濡れた手で電源の抜き差しをしない

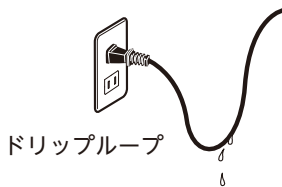
感電の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因となります。

電源タップには必ずドリップループを設ける

水滴がコードを伝ってコンセントに接触しないようにしてください。火災・感電の原因になります。




アースを確実に取り付ける


故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの接続および取り外しは、電源プラグがコンセントから抜いてある状態で行ってください。感電の原因になることがあります。


安全上のご注意 (つづき)

電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い

警告


 水槽に手を入れる場合・メンテナンスを行う際は電源プラグを抜く
感電の原因になります。


 電源プラグのほこりは、定期的に取り除く
ほこりなどがたまると、湿気などにより火災の原因となります。乾いた布で拭き取ってください。

 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。


設置するとき


警告

 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない
禁止
35℃以下の室内でのみ使用することができます。


 電源コード、アダプターに水のかかる場所への設置をしない
禁止
感電・漏電することがあります。


注意

 本製品に衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の際の取扱いには十分注意する
衝撃を与えると、破損・故障の原因になります。

 電源の延長コードが必要な場合、適切な規格のコードを使用する
コードのワット数が機器の定格より低い場合、オーバーヒートの原因となります。コードが引っ張られたり、抜けたりしないように注意して接続してください。


 製品の電圧と周波数をご使用環境に適合しているか確認する


 お子様に危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない
禁止


 屋外での使用や、放置をしない
禁止
発熱・破裂などの原因になります。

使用するとき


警告

 異常時(こげ臭いなど)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止する
発熱・火災の原因となります。購入された販売店もしくは弊社までご連絡ください。

 本製品を改造・加工等しない
禁止
破損やケガの原因となります。

 ポンプが水を循環できない状態かつポンプ内に水が満たされていない状態で動作させない
故障や火災の原因となります。

注意

 推奨される用途以外での使用はしない
禁止
思わぬ事故や危険を招く恐れがあります。

●ご使用の前に



注意

- ・本製品は水中専用です。
- ・ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。
- ・ポンプの電源は、必ずポンプ内が水で満たされた状態で入れてください。

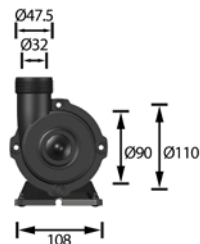
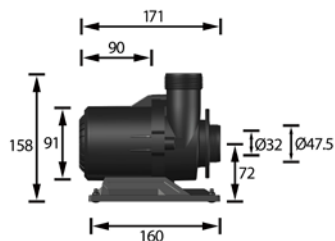
本製品は下記の注意事項を守ってご使用ください。

- ・ポンプが空運転しないように注意してください。
- ・本体に砂や異物が吸い込まれないようご注意ください。これにより深刻なダメージを受ける場合があります。また、この場合は保証の対象外となります。
- ・腐食性または研磨性のある液体でのご使用はお止めください。
- ・ポンプを持つ際は、ポンプ本体を持つようにし、コードを持ってポンプを持ち上げないでください。
- ・石灰藻やカルシウム成分、コケなどが付着しないように定期的に清掃を行ってください。
- ・アダプターのコネクターをコントローラーに接続する際は、必ず電源が入っていない状態で行ってください。

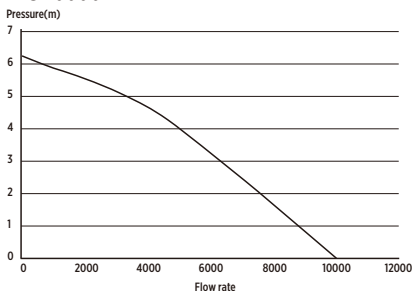
●仕様

	DC10000L	DC15000L
循環量	10,000 L/h	15,000 L/h
揚程	6.3m	8.5m
消費電力	2w - 90w (±5%)	2w - 120w (±5%)
入力電圧範囲	AC90-240V 50/60Hz	AC90-240V 50/60Hz
接続可能塩ビパイプ	VP25	VP25
接続可能ホース内径	25 mm / 30 mm / 38 mm	25 mm / 30 mm / 38 mm
水槽サイズ (魚水槽 / 養殖 / 活魚など)	～600L	～900L
水槽サイズ (リーフタンク / ミックスドリーフタンク / 低～中密度魚水槽 / 養殖など)	～1,000L	～1,500L

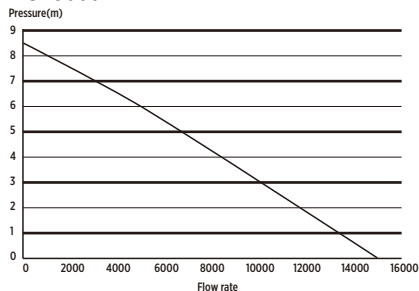
サイズ(共通) 単位: mm



DC10000L[※]



DC15000L[※]



※配管を行った状態で測定されています。(圧力計の測定ではありません)

●内容物



本体やコードにダメージがないか確認してください。ダメージがあった場合、上手く機能しない場合、機器を落とした場合は、機器を操作しないでください。電源コードは付け替えたり、修理して使用できません。コードが損傷した場合は本体ごと交換してください。

●水槽への設置方法



注意

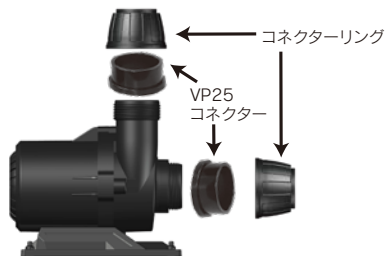
- ・ポンプの設置場所や吸水場所の水位の低下等で、ポンプが空転しないようにしてください。ポンプの故障や重大な事故の原因となります。また、これらの原因による故障は保証対象外となります。
- ・アダプターやコントローラーは、熱気や湿気のこもらない場所に設置してください。
- ・ポンプ内が水で満たされていない状態で、電源を入れないでください。

1. ポンプカバーを、モーターブロックから回しながら外します。
ホースコネクターを使用する場合は、ポンプヘッドの下図のパーツを外してください。
 コネクター Oリングを吸水口と排水口に取り付け、その上からコネクターリングとホースコネクター(もしくはポンプカバー)をそれぞれ取り付けます。



① VP25 直結の場合

接続したいパイプと、VP25 コネクターをシールテープ*や接着剤*等でしっかり固定してください。※別売り



② 38mm の場合

接続したいホースと、38mm コネクターをホースバンド*等で抜けないように固定してください。※別売り



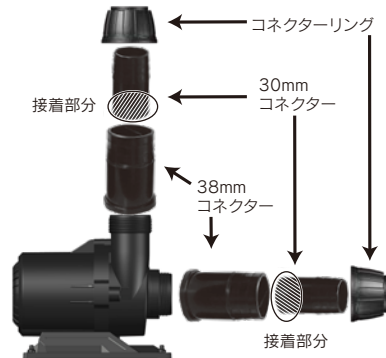
③ 25mm の場合

38mm コネクターと、25mm コネクターをシールテープ*や接着剤*等でしっかり固定してください。※別売り

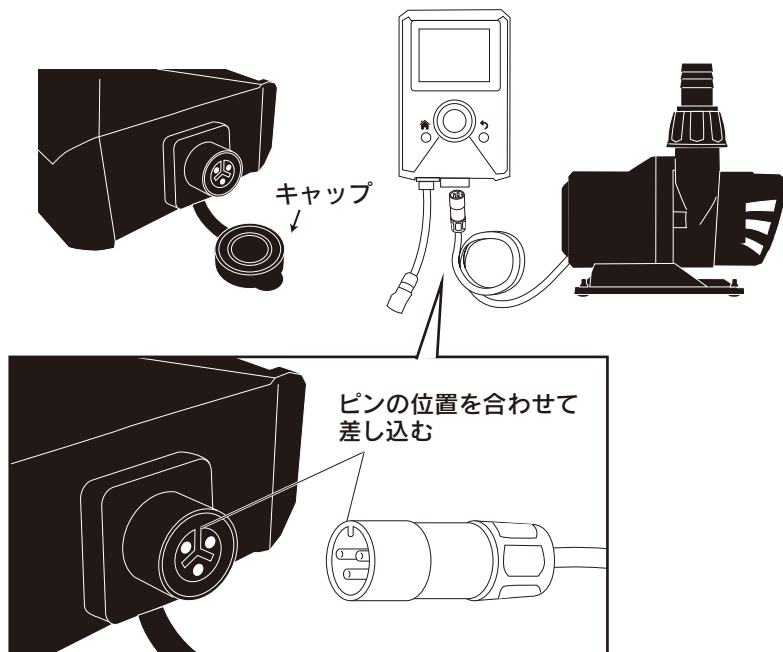


④ 30mm の場合

38mm コネクターと、30mm コネクターをシールテープ*や接着剤*等でしっかり固定してください。※別売り



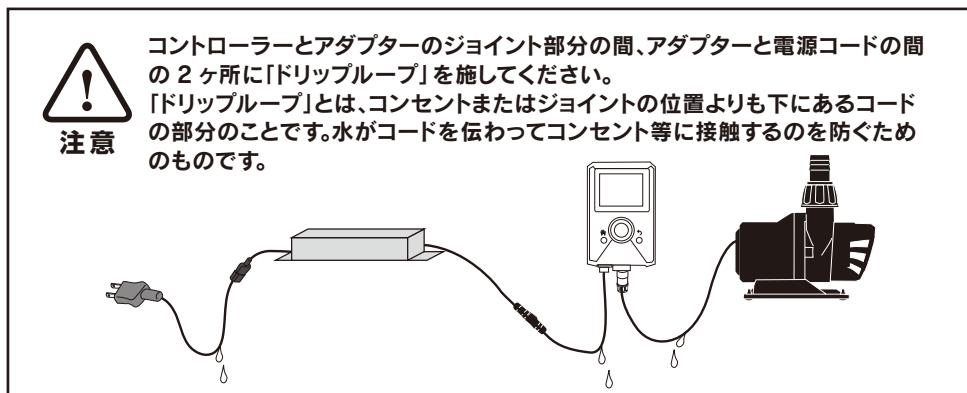
2. コントローラーの接続口のキャップを外し、本体のコードを接続してください。



3. アダプターのコネクターをコントローラーに接続してください。

4. 電源コードをアダプターに接続してください。

※接続は、必ず電源がコンセントにつながっていない状態で行なってください。

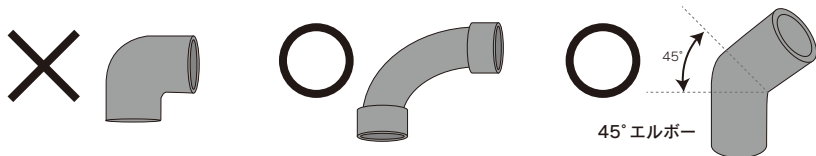


5. 本体内が水で満たされていることを確認してから、プラグをコンセントに接続してください。

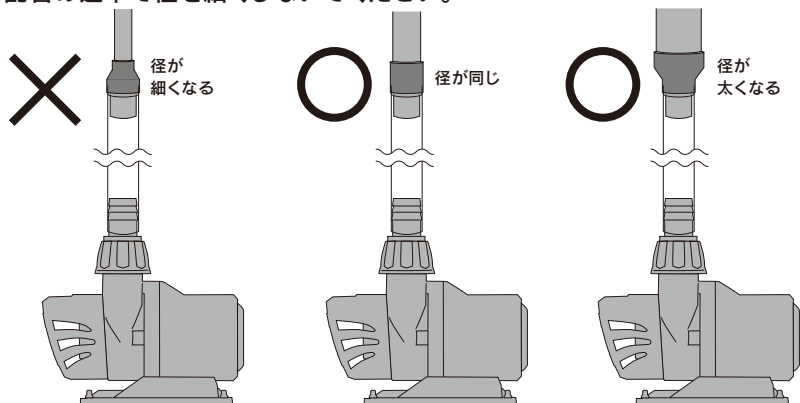
配管時の注意事項

過度な排水抵抗は、流量低下やポンプの異音、故障に繋がります。下記注意事項をお守りください。

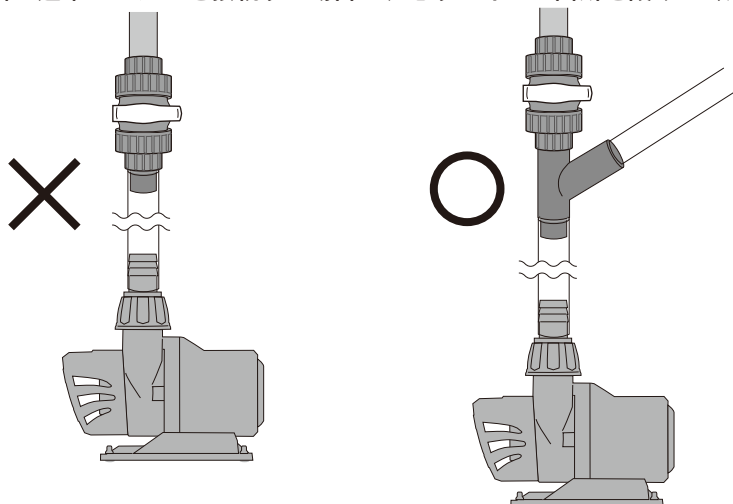
- 吸水配管または、排水配管の先に直角エルボパイプを使用しないでください。必要な場合は角度がなめらかなパイプをご使用ください。



- 配管の途中で径を細くしないでください。



- 配管の途中にバルブを接続する場合は、必ずバイパス箇所を設けてください。



●コントローラー及びコードを固定する場合

①コードの固定

コード固定パーツにコードを通して、両面テープでキャビネットなどのお好みの場所に接着してください。その際、ドリッブループを必ず施してください。

②コントローラーの固定

付属のネジを、壁面やキャビネットに取り付け、コントローラーを引っ掛けてください。

●コントローラー各部の名称と機能



●ホームボタン

ホーム画面に戻ります。

●ダイヤル

回転させて、各種設定および値を選択します。
ダイヤルを右に回すと数値が増加、左に回すと数値が減少します。
ダイヤルを押して決定になります。

●リターンボタン

現在の画面の前に表示していた画面に戻ります。

重要

通常の循環ポンプとして使用し、さらにラフシー、タイド、ランダムモードで使用する場合、Min Speed(最小流量)は50%未満にしないでください。

基本的な操作方法

● ホーム画面の表示

ホーム画面は右図のように表示されます。

Entry: 現在動作している波の設定を表示しています。
(詳しくは「7 ページ、波の設定」をご覧ください)。

Number: 接続しているポンプを表示しています。

Mode: 現在の波のモードを表示しています。


Time: 現在の設定が動作する時間帯を表示しています。

※09:00～19:00 であれば、9時から19時までの間、表示されているEntryの設定でポンプは作動します。

Week: 表示されている設定でポンプが作動する曜日を示しています。

Speed: ポンプの現在の回転数を表示しています。

Power: ポンプの現在の出力を表示しています。

Wave マーク(): 選択すると、波の設定に入ります。

ナットマーク(): 各種設定モードに入ります。

N / M / S: ポセイダンの現在の動作モードを表示しています。

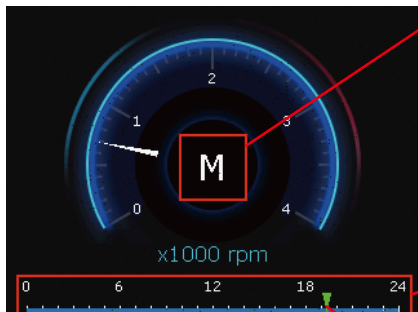
N はノーマルモード、M はマスターモード、S はスレイブモードを表示します。



● スタンバイモード画面の表示

スタンバイモード画面は下図のように表示されます。

しばらく操作をせずにいると、コントローラーの表示がスタンバイモードになります。



● 現在のポセイダンの動作モードを表示しています。

N はノーマルモード

M はマスターモード

S1, S2, S3 はスレイブモード

S? と表示される場合、マスターに設定されたポセイダンが見つからないことを意味します。マスター設定されたポセイダンの電源を先に入れてください。

● 動作設定のスケジュールを示しています。

設定されている波の種類によってバーグラフの色が変わります。詳しくは「7 ページ、波の設定」をご覧ください。

● 現在の時刻と現在の波の設定を指し示しています。

何かボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

●波の設定

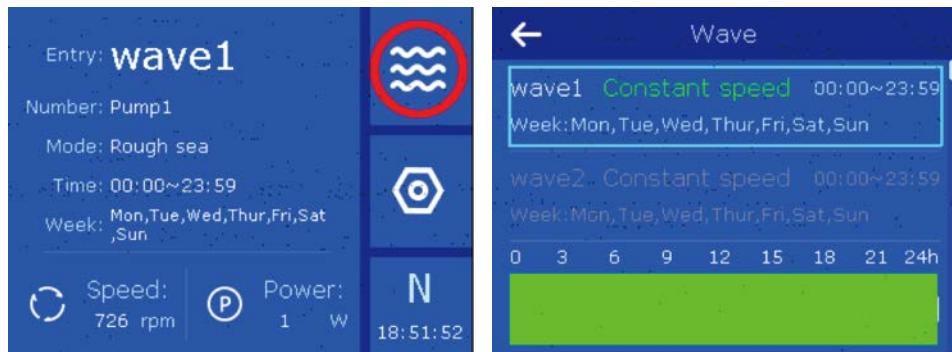
波の種類を曜日や時刻ごとに設定することができます。設定は Wave1 から Wave16 まで 16 個設定できます。

1. ホーム画面の波マークを選択してください。

ダイヤルを押すと、Wave1, Wave2, Wave3... と Wave 毎の設定が表示されます。

表示が薄くなっている Wave は設定がポンプの動作に反映されていない Wave です。

(下画像では Wave1 が動作しています。)



2. Wave1 にダイヤルを回して合わせてダイヤルを押してください。Wave1 の設定画面に進みます。(Status, Mode, Time, Save と画面に表示されます。)

※設定完了後、同様に Wave2、Wave3.. と全16 種類の設定が作成できます。

Status :

現在選択中の Wave1, 2,... の設定 (波の種類や動作時間帯など) をポセイドンの動作に反映させるかどうかを選択できます。

ON の場合は、Wave で設定した波の種類や動作時間に従ってポセイドンが動作します。

OFF の場合は、Wave で設定した波の種類や動作時間は動作に反映しません。



Mode :

Mode では波の設定が出来ます。

Mode を選択すると、Constant (コンスタント)、Rough Sea (ラフシー)、Tide (タイド)、Random (ランダム)、Custom (カスタム)、Wave0~7 と設定可能な波の種類が表示されます。

00 Constant (コンスタント)

常に同じ強さの水流でポンプが動作します。

01 Rough Sea (ラフシー)

荒れた海のような激しい波になります。

02 Tide (タイド)

潮の満ち引きのような緩やかに強弱が変化する波になります。

03 Random (ランダム)

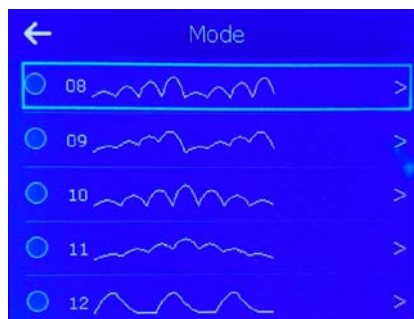
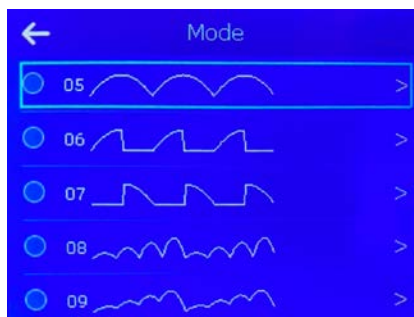
強弱と波の間隔がランダムな波になります。

04 Custom (カスタム)

水流の強さや間隔を任意で設定できます。

05~12 Wave (ウェーブ)

あらかじめ用意された 8 種類の波パターンです。



Master/Slave モードの場合

波の種類をダイヤルを押して選択すると、Master (マスター)、Slave (スレーブ) 1~3 のどのポンプに設定するか画面になります(右図)。設定したいポンプを選んでください。

※複数台のポンプの設定は 10 ページ「各種設定」

①Mode を参照してください。



【ダイヤルリングの発光】

選択する波の種類によってポンプの作動中にダイヤル周囲の光の色が変わります。
(波の種類の選択中にはダイヤルの色は変化しません)
コンスタント(緑)/ラフシー(青)/タイト(ピンク)/ランダム(オレンジ)/カスタム(紫)

Time :

設定中のポンプが動作する曜日と時刻を設定できます。

Timeを選択すると、右図の画面が表示されます。

Weekday: 設定しているWaveが動作する曜日を設定できます。

Time range: ポンプが動作する時間帯を設定できます。



※一日を通してポンプを動作させる場合、00:00～23:59 にしてください。

00:00～00:00 に設定すると、N/A モードになり、ポンプが動作しないのでご注意ください。


● Saveについて

セーブしてはじめて Status, Mode, Time の設定が保存され、ポンプが設定を反映して作動します。
(セーブしなければ、ポンプの設定は保存されません)

● Feed mode フィードモード

魚やサンゴに餌を与える時などに、ポンプの出力を一時的に落とすことができます。

ホームボタン  を 5 秒以上押し続けるとフィードモードになります。

フィードモードは初期設定では 10 分間続き、その後自動的に元のウェーブモードで作動します。
フィードモード作動中に、ホームボタン  を 5 秒以上押し続けるとフィードモードは強制的に終了になります。

※スタンバイモード画面では一度ホームボタン  を押してから、ホームボタン  を押してください。
フィードモードはポンプを完全に止めることはできません。

ポンプ出力、持続時間などの設定方法は、次項③をご覧ください。

●各種設定

ナットマークを選択すると各種設定ができます。



①Mode(右図) コントローラーに繋いだポンプのモードを選びます。

Normal : 一台で使用

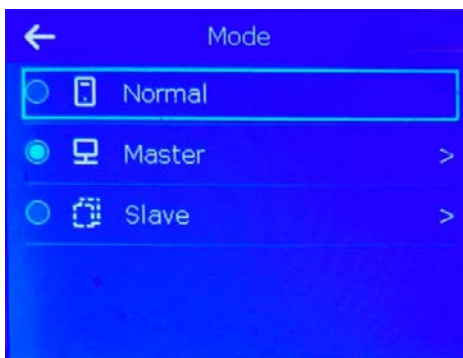
Master / Slave : 複数台を接続する際に使用します。

Master = メイン

Slave = その他

選択したら、OK ボタンで決定します。

※他のモードに変更した場合、設定は初期化されます。ご注意ください。



②Wi-Fi Wi-Fi を設定します。

③Feed フィードモードのセッティングをします。

Speed: ポンプの出力を 2%~100%の間で設定できます。

Time: フィードモードの持続時間を設定できます。

④Restore factory setting

工場出荷時の設定に戻します。(右図)

Ok ボタンを押すと初期化されます。

⑤Set system time zone

タイムゾーンを設定します。

Tokyo を選択してください。

⑥Set system time

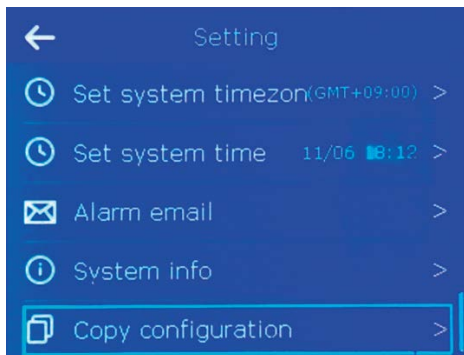
時刻を設定します。

時刻設定→ダイヤルを回して年月時刻を選択してクリックをして決定します。



- ⑦Alarm email 警告を送る E-mail アドレスを登録できます。
- ⑧System info ポセイドンの情報が表示されます。(SSID など)
- ⑨Copy configuration 新しく Poseidon を買い足した時や買い替えた時に、既にお持ちの Poseidon の設定をコピーする時に使用します。

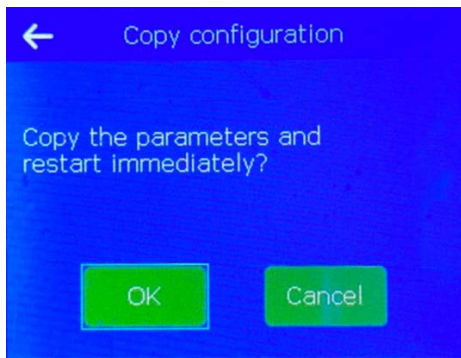
※移行する予定がある場合はあらかじめマスターモードでご使用ください。



コピーの手順

*デバイス A からデバイス B にコピーする場合

1. デバイス A はマスターモードになっていて、デバイス B のコントローラーが工場出荷時の状態 (10 ページ、④参照) になっていることを確認します。
2. デバイス B をノーマルモードに設定します。
3. デバイス B で Wi-Fi 接続画面を表示し、デバイス A の SSID (zx_pump_ 数字) を選択し次の画面で OK を押して接続します。(デバイス A の SSID は Setting 内の System info の Master SSID を参照。10 ページ、⑧)
4. Setting 画面に戻り、Wi-Fi の項目にデバイス A の SSID が反映されていることを確認してください。
設定画面で "Copy configuration" を選択し "OK" で実行すると再起動がはじまり、終了後に完了となります。(下図)



● エラーコード

ポセイドンが異常を検知した場合、登録された E-mail アドレスに警告メールが送られます。
(Wifi、メールアドレスを設定済みの場合)

- ①**ポンプ停止**：ポンプに何かが詰まって動作が停止しました。
- ②**ポンプ接続切断**：ポンプとコントローラーの間の接続が途切れました。
- ③**インターネット接続切断**：ポセイドンとインターネットの接続が途切れました。
- ④**電源ダウン**：何らかの原因でポセイドンへの電源供給が途切れました。

※エラーメッセージはコントローラーのディスプレイには表示されません。

エラーの解除方法：コンセントを抜いて電源をオフにし、再起動でエラーはリセットされます。

● 最新のマニュアルについて

ポセイドンはインターネット経由で最新の状態にアップデートされ、新しい機能が追加される場合があります。最新のマニュアルは弊社ホームページにてご確認ください。

<https://aqua.mmccorp.jp/item/maker/zoox/poseidon.html>



●メンテナンス

安全にご使用いただくために定期的に(最低でも月に1回)汚れやカルシウム成分を取り除くメンテナンス(清掃)を行ってください。また、電源コードの接続部分やコンセントなどのホコリや汚れも取り除いてください。

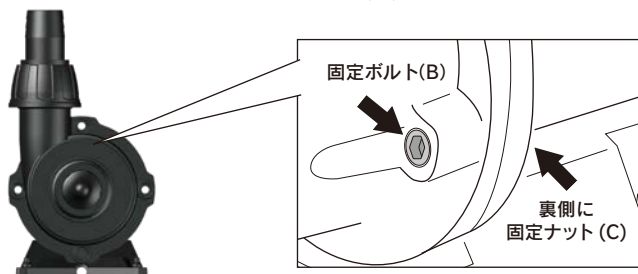
※必ず電源プラグをコンセントから抜き、通電していないことを確認してから行ってください。

※ポンプの構造をよく理解してから行ってください。

※洗剤や硬いスポンジやブラシを使用しないでください。

※電源コードやコンセントを清掃する際は、乾いた柔らかい布で清掃してください。

1. 市販の六角レンチ(付属していませんので別途ご用意ください)を使い、固定ボルト(B)を取り外します。この際に固定ナット(C)を紛失しないように注意してください。



2. モーターブロック(F)からポンプカバー(A)を取り外します。
3. モーターブロック(F)からインペラー(D)を取り外します。

各部名称

A ポンプヘッド

B 固定ボルト

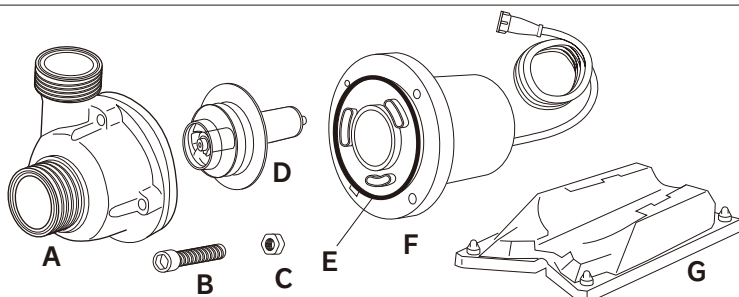
C 固定ナット

D インペラー

E 本体Oリング

F モーターブロック

G ポンプマウント



4. 柔らかい毛の歯ブラシなどを使い、各パーツの汚れを取り除いてください。
※石灰藻やカルシウム成分などが固着している場合は、弊社が販売している DD のアクアリウム用品専用クリーナー Ezecclean などの専用クリーナーを使用して取り除いてください。
5. インペラーに破損が無いか確かめます。
6. Oリングに傷や破損が無いか確かめます。
※小さな傷でも水漏れや故障の原因となりますので見つけた場合は直ちに交換してください。
※インペラーやOリングは消耗品扱いとなり、保証の対象外となります。
※シリコングリス(別売り)を塗ることをおすすめします。

7. 1～3の逆の手順でポンプを組み立て直し、元の場所に設置します。

※インペラーを戻す際、磁力によって引っ張られるため、取り付けは慎重に行ってください。インペラー破損の恐れがあります。

8. 電源を入れてしばらくは異常が無いか確認してください。

● Wi-Fi モジュールについて

本製品はWi-Fi モジュールを含んでおり、以下の機能をご利用いただけます。

1. 本製品の間で設定、データを同調、共有します。
2. ローカルネットワークに接続して、当社のクラウドサーバーとの間でデータを送受信し、エラー、当社製品の接続解除などのアラートEメールを提供します。

● エラーコード解決方法

エラーコード	原因	解決方法
Er01	空運転	ポンプ設置場所の水位が低くなっていないか確認してください。必要であれば水足しを行ってください。
Er02	低電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。ヒーターやクーラー、照明器具等とタコ足配線で使用すると、低電圧になる可能性があります。周辺器具の配線を見直してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er03	高電圧	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
Er04	給水・排水圧異常	給水もしくは排水に抵抗がかかっていないか確認してください。必要であれば4ページの「配管時の注意事項」に従って、配管を見直してください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。
Er05	電流異常	純正の専用のアダプターに接続されているか確認してください。改善されない場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
	異物混入・よごれ	ポンプを分解・清掃してください。

※すべてのエラーコードは、ポンプを自動的に停止させます。
問題解決後、電源を入れ直し、ポンプを再起動してください。




ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承ください。

● Q&A

- Q. 電源を入れ設定を行ってもポンプが稼働しない。
- A. 運送時などに発生する衝撃でインペラーの軸がずれてしまう場合がございます。
一度インペラーを取り出しキズや破損がないか確認した後、再度組み立て直してください。
※インペラーに傷や破損が見られた場合は使用を中止し販売店または下記の弊社お問い合わせメールへご連絡ください。
- トラブルやわからない事が発生した場合は、購入いただいた販売店または弊社お問い合わせメールへご連絡ください。

お問い合わせ : info@mmcplanning.com

 214-104572

輸入 / 発売元

株式会社 エムエムシー企画 レッドシー事業部

〒174-0063 東京都板橋区前野町 6-29-4

お問い合わせ : info@mmcplanning.com

<https://aqua.mmccorp.jp>